

付帯調査（自由意見）

（令和2年3月調査）

景況調査票の自由意見欄に貴重なご意見をいただきました。ご多用中にもかかわらずご記入をいただき、感謝申し上げます。以下に、それぞれの特徴的なご意見を掲載いたします。

なお、掲載にあたり若干の加筆・修正を加えています。

1. 新型コロナウイルスの流行にともなう経営や事業活動への悪影響について

分類項目	回答数（回答率）
悪影響あり	774（78.3%）
悪影響なし	214（21.7%）
計	988（100.0%）

●経営や事業活動への悪影響、流行への対応等についてのご意見

《製造業》

- 卒業式、入学式等の中止が悪影響を及ぼしている。今後のブライダル需要への影響が懸念される。（装身具・装飾品製造業）
- 中国製品が入ってこないのので、仕事が止まってしまう。（建設用金属製品製造業）
- イベントの中止により、印刷物発注止めがあった。（印刷業）
- 営業に出られない。テレワーク、時差出勤も製造業は難しい。（工業用プラスチック製造業）
- 中国の生産ストップによる製造部品調達に大きな影響がある。（理化学・光学機器製造業）
- 部品の多くが中国からの輸入に頼っており、現在納品遅れが生じている。（情報通信機器製造業）
- パート人材のシフト調整が難しい。（がん具・事務用品製造業）

《卸売業》

- 中国からの輸入割合が高いため、現地の鎮静化がいつになるのか不安。（男子服卸売業）
- 外食産業の悪化が直に売上にダメージ。どれくらい続くか予想できないので不安が大きい。（食肉卸売業）
- 少人数で仕事をしているため、一人でも感染してしまった場合、操業停止になるのではと心配している。（紙・紙製品卸売業）
- 医療機関等への出入りが減少しており、医療情報の入手及び提供に影響が出ている。（精密・医療用機器卸売業）

《小売業》

- 1月後半よりお客様が来なくなった。シニア層が不安を感じ警戒しているようだ。（婦人服小売業）
- 納品先の営業中止による納品の休止。（酒小売業）
- 従業員が休まざるを得ない状況で困っている。（コンビニエンスストア）
- 来客数の減少による売上減と、それに伴う固定費や借入金返済への影響が心配である。（化粧品小売業）
- 品物や部品が入荷しない。（自転車小売業）
- 多人数による会合の自重により、各種行事の縮小、延期に伴う売上減が見込まれる。（花・植木小売業）

《サービス業》

- イベントの中止で仕事なくなった。（映像・音声制作業）
- 感染防止のためのマスクや消毒液の確保に奔走せざるを得ない。（その他土木建築サービス業）
- イベントや会合の中止で売上に多大な影響がある。（広告・ディスプレイ業）

- 海外出張業務（アジア圏）の中止等。 (計量・非破壊検査業)
- 宴会のキャンセルや来客数の減少。 (一般飲食店)
- キャンセルが続き非常に困っている。 (宿泊業)
- 卒業式、パーティの着付けが全部キャンセル。一般のお客様も来店しない。 (美容業)
- 2月中旬より5月中旬までの仕事がすべてキャンセルとなった。 (旅行業)

2. 最近の状況や関心事について

ご意見をいただいた方の最近の状況や関心事

分類項目	回答数 ※
1. 経済・景気動向	143
2. 業界の動向	60
3. 顧客・得意先	61
4. 為替	6
5. 金融・資金繰り	35
6. 売上・収益	93
7. 物価変動	14
8. 消費税	33
9. 人材の確保・育成	45
10. その他	58

※複数回答

●最近の状況や関心事についてのご意見

1. 経済・景気動向について

- 事業承継、借入金返済等頑張ってきたが、短期間に今後の見通しが立てられなくなり、不安を通り越して大ショックだ。一日も早い回復を祈っている。 (装身具・装飾品製造業)
- 新型コロナウイルス、中国経済や世界経済の落ち込み、冶金価格の高騰及び価格変動幅の大きさが悪影響を及ぼしかねないのでは。 (装身具・身の回り品卸売業)
- 新型コロナウイルスの影響で景気見通しは良くない。 (セメント・板ガラス卸売業)
- 先行きが見えず、不安増大。 (靴・履物小売業)
- 新型コロナウイルスの日本国内及び世界各国への流行が経済へ及ぼす悪影響を心配している。 (その他専門サービス業)

2. 業界の動向について

- 文具業界の再編が進み、今後の動きがどうなるか不透明である。 (紙製品製造業)
- 業界動向不透明により、売上予定が非常に不明確で経営難である。 (情報通信機器製造業)
- 業界全体で品不足が続いている状況。 (管工機材卸売業)
- 新型コロナウイルスの影響により景気が非常に悪くなり、自動車業界は相当悪くなると思う。 (自動車・自動車部品卸売業)
- 新型コロナウイルスの影響でイベント産業が停滞している。この先の状況が見えなくて恐怖を感じている。 (産業用機器賃貸業)
- 来日客が減少し、直接インバウンドを受け入れていない業者にも影響が出ている。今後、インバウンドに依存している業者は、倒産や廃業が出てくるのではないかと。 (旅行業)

3. 顧客・得意先について

- 得意先の廃業、解散がある。 (貴金属・宝石製造業)

- 得意先がどんどん廃業している。

(家庭用品・他什器小売業)

4. 為替について

- 株価為替の乱高下に振り回されている。

(男子服小売業)

5. 金融・資金繰りについて

- 中国工場閉鎖のため、製品輸入が止まり売上は大幅減少、資金繰りが悪化した。
(装身具・装飾品製造業)

- 売上減少に伴う資金繰り。

(管工機材卸売業)

- 新規事業を拡大しようと思っているが、資金繰り、売上収益に不安がある。

(出版業)

- 10月の消費税率の引き上げで明らかに消費行動が変わったようだ。リーマンショックのころに近い景気の冷え込みを感じていた矢先に、新型コロナウイルス感染症が流行し、資金繰りの心配が出てきた。

(宿泊業)

6. 売上・収益について

- このまま売上低迷が続けば、人員削減もやむを得ない。

(木材・他建築材料卸売業)

- 店舗の売上が極端に減ったため、インターネットによる販売に移行している。

(書籍・雑誌小売業)

- 売上も減少、出荷も減少で心配だ。

(倉庫業)

- 売上が下がる分、経費削減し利益を確保する。

(事務用機器他賃貸業)

- 来場者の減少により、売上が減少。

(スポーツ施設提供業)

7. 物価変動について

- ある程度、デフレを意識して他店より先手を打てるようにする。

(食肉卸売業)

- デフレが再熱してしまう。

(鮮魚小売業)

8. 消費税について

- 消費税の影響が出ている。

(電気計測器製造業)

- 消費税の影響が残り購買行動が極端に変化している中では、対応の方法がなかなか見つからない。

(雑貨・身の回り品小売業)

- 消費税率改定後の買い控えがそろそろ終わるかと思われたときに、新型コロナウイルスによる影響があり、今後の経営が心配。

(化粧品小売業)

- 年末は消費税率改定にあたり、消費の落ち込みに苦労した。2月3月はもとに戻りそう。

(家電・電気機器小売業)

9. 人材の確保・育成について

- 人材確保について厳しい状況。

(ゴム・プラスチック卸売業)

- 若手人材の確保が課題。

(精密・医療用機器卸売業)

- パート、アルバイトの集まりが悪く、人件費の上昇を心配している。

(コンビニエンスストア)

- 他社と比べ人材の確保に苦労はないが、急激な成長に伴って育成が追いついていない。

(駐車場業)

- 人手不足により人材の確保が最優先だが、売上の低下で積極的に募集できないのが実状だ。

(機械修理業)

10. その他

- 新型コロナウイルスの終息時期がいつになるのか。体力のない企業が倒産することで、悪影響がありそうで怖い。

(電設資材卸売業)

- 気候変動。

(普通洗濯業)